



新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様方におかれましては、令和8年の新春を穏やかに迎えのことに
拝察し心よりお慶び申し上げます。

昨年12月3日の「第55回香川県身体障害者福祉大会」は、県内各地から多
くの会員と福祉関係者の方々にご参加をいただき、盛会裏に開催することがで
きましたこと、深く感謝申し上げます。

また、昨年は、当連合会の前身である（財）香川県身体障害者協会が、昭和
30年8月に設立されて以来70年を迎えました。この間、多くの諸先輩方のご
尽力により、共生社会の実現に向けて法令や制度の整備がなされてきました。
我々もその歩みを継承し活動していく必要があります。

しかしながら、当連合会の加盟団体において、会員数の減少や高齢化等によ
る担い手不足で、組織の衰退が進んでいる状況があり、大変憂慮しているところ
です。この問題は、本県に限らず全国的な課題であり、解決するための特効
薬的な方策を見出せていません。

身体障害者団体に参加することにより、障害者同士が直接交流し、連携を深
めることで、孤独・孤立に陥らず、日常生活の充実が図られ、社会参加の促進に
繋がっていると考えています。引き続き、我々は組織活性化に努めるとともに、
行政に対しては各団体の組織強化のための様々な支援について、要望してまい
ります。

さて、昨年11月の第49回中・四国身体障害者福祉大会（こうち大会）にお
いて、私は大会閉会前の万歳三唱を任されましたが、障害者への差別が解消さ
れ、共生社会が実現されるまでの道のりは、まだ途中であり、その実現に向け
てこれからも団結して大いに活動していかなければならないという思いから、万
歳ではなく、ガンバロー三唱に変更しました。参加者の皆さんもその思いに共感
し、会場にガンバローが大きく響き渡り、中・四国の仲間同士の連携が一層深
まったと感じました。

当連合会は会員の皆様方の強い連携のもと、障害者の自立と社会参加の促
進を目指し努力していく必要があると考えておりますので、引き続きご支援、ご
協力をよろしくお願い申し上げます。

厳しい時代ではありますが、令和8年が、皆様にとりまして希望の持てる年にな
りますよう祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



第 91 号
2026. 1. 1

発 行 者
公益財団法人 香川県身体障害者
団体連合会

会長 岡村 隆次

高松市番町一丁目10-35
香川県社会福祉総合センター内
TEL 087-862-3540
FAX 087-837-6521

印刷所 (株)弘栄社

この発行事業は
共同募金の
助成を受けて
実施しています



謹んで新年のお慶びを申し上げます

令和8年 元旦

公益財団法人 香川県身体障害者団体連合会

会 長 岡村 隆次
副会長 別府 健二
副会長 高橋 厚彦
副会長 石川 良夫



第55回香川県身体障害者福祉大会開催

昨年12月3日(水)丸亀市綾歌総合文化会館アイレックスにおいて、第55回香川県身体障害者福祉大会が会員と関係者約240人を集めて開催されました。同大会は、当団体の前身であります(財)香川県身体障害者協会の設立から70年を迎えることから、法人設立70周年記念大会でもありました。



別府健二大会副会長の開会のことばに始まり、君が代斉唱、

身体障害者福祉関係物故者への黙とうの後、岡村隆次大会長から、「今大会が県内各地より多くの参加のもと、共に安心して暮らせる共生社会の実現を図る事を目的に開催される事は、誠に意義深い事だと思います。」「昨年の中・四国身体障害者福祉大会は、開催地高知県を除くと、香川の参加者が最も多く、皆様の障害者福祉に対する熱意の表れだと思います。」「昭和25年に施行された身体障害者福祉法に始まり、多くの諸先輩方々のご努力により、多くの法整備が行われてまいりました。これにより障害を理由とする差別の解消と障害者の社会参加が一層推進されるものと期待されましたが、思ったほどの成果はまだ見えません。私達の運動(活動)は、まだ道半ばで、全ての県民が障害の有無にかかわらず、互いに人格と個性を尊重しながら、笑顔で安心して生き生きと暮らせる郷土香川の実現に向けて、これからも皆さんと共に、行政とも連携しながら頑張ろうではありませんか。」と開会あいさつがありました。



この後、永年、身体障害者福祉の増進に功績のあった更生援護功労者(9名)、自立更生努力者(2名)、協助者(1名)の方々に対し、香川県身体障害者団体連合会会長表彰が伝達されました。



続いて、来賓を代表して、池田豊人香川県知事と谷久浩一香川県議会議長から、お祝いのことばをいただくとともに、祝電が披露されました。来賓としてご出席いただいたのは、大山茂樹さぬき市長、片岡英樹琴平町長、香川県社会福祉協議会の土岐敦史常務理事、県選出の衆議院議員、参議院議員の秘書の方々です。

続いて、受賞者を代表して綾川町の長尾舜



香川県身体障害者団体連合会会長表彰

1 更生援護功労者(9名)

氏 名	所 属
川 田 勝 子	丸 亀 市
植 村 雅 司	さ ぬ き 市
秋 山 重 義	三 豊 市
藤 田 美代子	三 豊 市
堂 田 ハツ子	小豆郡土庄町
坂 東 松 盛	小豆郡小豆島町
長 尾 舜 哉	綾歌郡綾川町
松 田 賢 哲	視覚障害者福祉協会
片 山 スマ子	中途失聴・難聴者協会

2 自立更生努力者(2名)

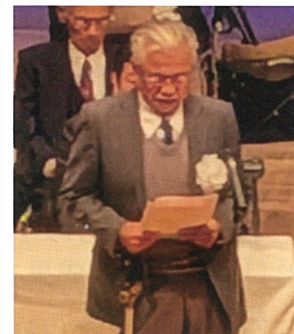
氏 名	所 属
竹 中 悦 子	東 か が わ 市
澤 井 良 知	腎臓病協議会

3 協助者(1名)

氏 名	所 属
井 上 スマ子	東 か が わ 市

哉氏が謝辞を述べられました。

式典に続く議事では、議長に選出された石川良夫大会副会長の進行により、福岡信行理事の朗読による大会宣言（案）及び河邊英一監事の朗読による大会決議（案）が提案され、全会一致で採択されました。



大会宣言

障害者差別解消法の施行から10年目を迎える中、この間、共生社会の実現に向けて法令や制度の整備など、行政による差別解消の取組が行われ、昨年からは、民間事業者にも障害者への合理的配慮の提供が義務化されました。

障害者が地域社会において、災害時を含め障害を理由とする差別により不利益を被ることなく、安全・安心な生活を送るためには、障害者差別の一層の解消を図ることが重要であり、それは行政による取組だけでなく、我われ一人ひとりがしっかりと意識をもって、その発信者となり、社会全体の理解を深めていく必要があります。

当連合会は、今年で設立70年を迎えましたが、設立以来、障害者の自立と社会参加の促進を目指して活動してきたところであり、今後とも、障害の有無にかかわらず、誰もが互いに人格と個性を尊重しあいながら共生できる地域社会が実現されるよう、行政と連携して、努力していかねばなりません。

本日、県内各地から、身体障害者及び関係者が一堂に会し、ここ「丸亀市綾歌総合文化会館アイレックス」において、第55回香川県身体障害者福祉大会を開催できたことは、誠に意義深いことであり、大会開催に当たり、関係機関、関係団体からお寄せいただいたご支援とご協力に対し、厚くお礼を申し上げます。

私たちは、この大会を契機とし、改めて、会員の力を結束し、全ての県民が相互に支え合いながら共に生き生きと暮らせる郷土の実現を目指し、一致団結して力強く行動することを誓い、ここに宣言します。

令和7年12月3日

第55回香川県身体障害者福祉大会

大会決議

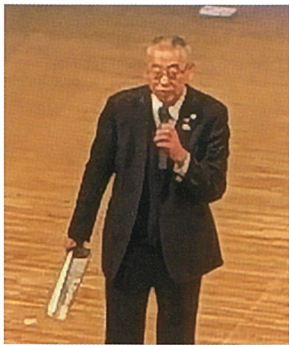
- 一、身体障害者を孤独・孤立に陥らせず、自立と社会参加の促進につなげるため、身体障害者団体が今後も公益活動を継続できるよう支援を要望する。
- 一、災害時に障害者が誰一人取り残されることなく避難でき、避難生活においても大きな困難を強いられないことがないよう、具体的で実効性のある災害時の障害者支援体制を早急に整備するよう要望する。
- 一、身体障害者スポーツへの積極的な助成を要望する。
- 一、重度心身障害者等医療費支援制度について、手帳取得時65歳以上も対象にするとともに、後期高齢者医療制度に移行後も、医療費の現物給付を継続するよう要望する。
- 一、障害者が住み慣れた地域で安心して生活していくために、移動手段である地域公共交通サービスの利便性確保のための積極的な支援を要望する。

令和7年12月3日

第55回香川県身体障害者福祉大会

議事終了後、休憩を挟んで芸能発表が行われ、まず観音寺市身体障害者協会の「こすもすの会」の皆様による未来へ、ドレミの歌のコーラス、続いて丸亀市身体障害者福祉連合会の「マーガレット」の皆様による ふるさとの色、人生これから、上を向いて歩こうの手話付きコーラスが、それぞれ日頃の練習の成果を十分に発揮し、見事な歌声が披露されました。

最後は、さぬき市身体障害者団体連合会による殺陣を交えたお芝居と歌謡ショーを組み合わせた歌謡芝居「清水次郎長外伝・お蝶」が上演され、その熱演に会場が大いに盛り上がりました。



最後に高橋厚彦大会副会長から閉会のことばがあり、大会を終了しました。



第49回中・四国身体障害者福祉大会(こうち大会)が開催されました

令和7年11月7日(金)に高知城にほど近い高知県立県民文化ホールにおいて第49回中・四国身体障害者福祉大会〔こうち大会〕が、中国、四国の各県から約700名の身体障害者や関係者が集まり盛大に開催されました。

香川県からは、125名が参加し、参加者数は地元高知県に次ぐ多さでした。

午前10時から式典が始まり、主催者の宮崎俊雄高知県身体障害者連合会会長の挨拶や大会長表彰が行われました。

また、地元高知県を代表して濱田高知県知事(代理)、桑名高知市長(代理)の歓迎のあいさつに続いて、阿部日本身体障害者団体連合会長(代理)等の祝辞があり、続いて議事に移り、大会宣言や大会決議が提案され、全会一致で採択されました。

議事終了後、次期開催県である川中克幸広島県身体障害者団体連合会会長から、来年は広島県三次市民ホールきりりて11月に第50回大会を開催するので参加をお待ちしていますと挨拶があり、大会の締めくくりに前回開催県である当連合会の岡村会長が、ガンバロー三唱を行い、大会は閉会しました。

こうち大会では、香川県から次の3名の方が大会長表彰を受賞されました。

(敬称略)

- | | |
|-------------|--------|
| ・東かがわ市 | 赤山 良雄 |
| ・坂出市 | 河邊 英一 |
| ・県視覚障害者福祉協会 | 浅見 裕一郎 |



(左より)河邊英一、浅見裕一郎、赤山良雄



大会スローガン

◎災害時の障がい者支援体制を早急に確立させよう

◎障害者差別解消法により一層の理解促進を図り「共生社会」を実現しよう

大会宣言

国連における障害者権利条約の採択から、19年が満ちようとしている。全国の仲間が長年取り組んできた障害者の人権に関する活動が、日常生活の場において評価される時代が到来した。

この間、共生社会の実現に向けて整備された法・制度が、実効性をもって社会に広がるよう、特に、民間事業者には義務化された合理的配慮の取組が周知・指導され、広報及び相談体制が充実されるよう、国と地方公共団体に求める。

また、自然災害は日本各地で絶え間なく起こっている。災害時に障がい者が誰一人取り残されることなく避難でき、避難生活において大きな困難を強いられることにならないよう、個別避難計画の作成、福祉避難所の確保・設置、迅速・確実な情報取得のための体制整備など、国と地方公共団体が一体となって災害時の具体的で実効性のある障がい者支援体制の整備を早急に講じるよう要望する。

私たちは、これらの課題を自分事として地域で声をあげていく。そして、中・四国ブロックの障害者団体は、この大会を契機に、改めて相互の連携を一層強め、障がいの有無に関わらず、すべての人々がお互いに尊重し、支え合いながら、ともに安心して暮らせる共生社会の実現を目指し、一致団結して行動することをここに宣言する。

令和7年11月7日 第49回中・四国身体障害者福祉大会こうち大会

大会決議

- 一、民間事業者における合理的配慮の取組が円滑に進み、障がい者が地域で安心して暮らすことができるように国と地方公共団体が一体となり、相談体制の更なる充実と事業者等への周知・指導の強化に努めるよう要望する。
- 一、障がい者の個別避難計画について、行政、福祉関係団体、地域の関係者等が連携し、障害特性に応じた適切な計画が、すべての市町村において早急に作成されるとともに、福祉避難所の確保・設置・強化など、災害時の具体的で実効性のある障がい者支援体制の整備促進を要望する。
- 一、物価高騰の状況下にあつて、障がい者の日常生活に支障が生じることがないように、障害基礎年金等の支給額引き上げや障害者控除の拡充、社会保険料や医療費の自己負担の軽減など、所得を確保するための措置を講ずるよう要望する。
- 一、障がい者が、住み慣れた地域で安心して生活していく上で不可欠な移動手段を維持していくための環境整備を要望する。
- 一、市町村障害者団体の活動が維持継続できるように、市町村行政等との連携、協力体制を確保する等、行政による団体の育成支援が一層図られるよう要望する。
- 一、デジタル社会の推進において、障がい者にも等しく利便性が供与されるよう配慮のうえ対策を講じるよう要望する。

障がい者が地域で生きがいを持ち、安心して暮らせる社会環境の実現に向け、障がい者施策の更なる充実を目指し、以上決議する。

令和7年11月7日 第49回中・四国身体障害者福祉大会こうち大会

令和8年度香川県障害福祉予算編成に伴う要望を行いました

香川県の来年度予算編成に合わせ障害者施策に対する要望を取りまとめ、9月19日に開催しました理事会で承認のうえ、10月16日に、知事あての要望書を長尾英司健康福祉部長に、また、10月20日に県議会議長あての要望書を谷久浩一議長に、それぞれ岡村会長から提出しました。



(左) 長尾香川県健康福祉部長

(右) 谷久香川県議会議長

要望項目

- 1 市町身体障害者団体に対する支援について
- 2 障害者等用駐車場について
- 3 災害時の障害者支援体制の構築について
- 4 身体障害者スポーツへの助成について
- 5 医療費助成制度の拡充について
- 6 地域公共交通の利便性の確保について
- 7 香川県社会福祉総合センター駐車料金減免について
 - ①香川県視覚障害者福祉センターで活動するボランティアの駐車料金減免について
 - ②障害者に対する駐車料金減免の拡大について

第26回中・四国ブロック身体障害者相談員研修会（鳥取県）

令和7年10月2日に研修会が米子コンベンションセンターにて開催され、本県より12名（全体では123名）が参加しました。

初めに一般社団法人アールスペースからふる理事長の妹尾恵依子氏の講演がありました。

アールスペースからふるは、障害のある人、ない人も通えるアート教室として、創作された作品を有料でみんなの手元に届けたいという思いから、事業所の運営を開始しました。教室に通う障害のある人が制作した個々の作品について、熱心に説明される理事長の姿勢はとても感動を与えてくれた講演でした。

次に取組事例の発表として、鳥取市相談員の奥田春寿氏はオストメイトの事例を中心に相談とその対応について発表があり、また伯耆町相談員の花倉積氏は、地域の中で相談員としての活動状況を熱心に発表されていました。身体障害者手帳を取得した方はいるけど身障協会会員は増えないし、また手帳取得者の連絡先はわからないのが実情である。については身障協会へ勧誘する書式を改めて電話番号を記入してもらい、こちらから電話連絡するように努めているとのことでした。ふたりの相談員はともに地域やそこに住む障害者のために一生懸命取り組む姿勢がとても印象的でした。



身体障害者相談員等ブロック別研修会開催

香川県身体障害者相談員を対象としたブロック別の研修会を昨年10月16日に高松市内（東ブロック）、同月24日に丸亀市内（西ブロック）で開催したところ、相談員等合わせて約40名が出席しました。

研修会では、各ブロックとも、それぞれ別の司法書士から「成年後見制度の概要及び相続・遺言」についての説明がありました。

成年後見制度は、自分の財産管理などを行うことに支障がある人が、後見人等の支援を受けながら、自身の安心した生活を送るための制度でありまして、後見人等とは、後見人、保佐人、補助人を指し、家庭裁判所から審判を受けた成年被後見人の生活をお手伝いする人たちです。高齢化が進む中で、成年被後見人自らの意思表示がうまくできずに、家族とのコミュニケーションを図ることができないケースが多く見受けられるとのことでした。

また相談員の中には、実際に本人や家族が経験した具体的な遺産相続の内容についての質問がありました。例えば、空き家についての質問が多く、遺産相続の際にもその空き家を誰も引き受けようとはしない、また近所の空き家も相続人が誰だかわからないなど難しい事態となっていて、問題が起きているとの指摘されました。この点は行政（市町）も苦慮しながら取り組んでいるとのことでした。このように今回の研修は日常生活に直結したものであり、さまざまな相談を受ける立場にある相談員にとっては大変参考となる内容でした。



東ブロック



西ブロック

東かがわ市障がい者スポーツ大会

10月18日（土）に東かがわ市障がい者スポーツ大会が白鳥中央公園体育館で開催されました。

競技種目として、パン釣り競争、玉入れ、フライングディスク、軽体操、ペットボトルボーリングがありました。

みなさん楽しく競技に参加されていました。



女性部全体地域交流会

昨年10月7日(火)に令和7年度女性部全体地域交流会が開催されました。

初めに女性部の川田部長に挨拶をしていただきました。

続いて、高松赤十字病院の看護部災害救護委員の看護師である藤本真由美氏をお招きして、出前講座「災害にそなえてできること」というテーマで講演をしていただきました。新聞紙でつくる簡易スリッパも教えていただきました。

講師のお話を皆さん熱心にメモを取ったり聞いていらっしゃいました。

作品作りでは、立体的なクリスマスツリーを作りました。いろいろな飾りをツリーに貼りつけ、一人ひとり違った作品が完成しました。



第24回全国障害者スポーツ大会

特別全国障害者スポーツ大会が令和7年10月25日から3日間にわたって、滋賀県で開催されました。競技成績は次のとおりです。

〈メダル獲得者〉

金メダル	銀メダル	銅メダル	合計
10個	12個	4個	26個

〈金メダル獲得者〉

競技名	選手名	種目名	備考
陸上競技	松林 正弘	砲丸投	
	松林 正弘	ソフトボール投	
	鎌倉 志帆	ソフトボール投	
	鎌倉 志帆	スラローム	
卓 球	森田 秀樹	一般卓球	

競技名	選手名	種目名	備考
水 泳	入谷 友子	25m平泳ぎ	大会新記録
	入谷 友子	50m平泳ぎ	
	白玖 正樹	25m平泳ぎ	
	荒井 由真	50m自由形	
フライングディスク	小野 敬三	アキュラシー ディスリート・ファイブ	



丸亀市障がい者スポーツ大会

11月29日(土)に令和7年度丸亀市障がい者スポーツ大会が丸亀市民体育館で開催されました。

競技種目として、おなじみ体操、玉入れ、パンつかみ競争、おすわり新聞玉入れ、ジャンケン大会がありました。

みなさん楽しく競技に参加されていました。スタッフ対抗車椅子リレーが「パラサポ!ミライ」(スポーツ・アクティビティ用車いす)を使用し開催されました。ジャンケン大会はグー、チョキ、パーの列に並び、勝った方に記念品が贈られました。

今年も碧空会によるおいしいうどんが振舞われました。

丸亀市障害者福祉連合協会会長である岩崎会長が閉会宣言をして終了しました。



令和 8 年上期の主な行事予定

(令和 8 年 1 月～ 3 月)

実 施 日	時 間	行 事 名 称	場 所
1.21 (水)	15:00～	中・四国ブロック身体障害者団体連絡協議会	坂 出 市
3. 2 (月)	13:30～	第3回理事会	7 F 第 二 中 会 議 室
3. 4 (水)	13:30～	女性部幹事会	6 F 第 一 研 修 室
3. 9 (月)	13:30～	スポーツ基金運営委員会	6 F 第 一 研 修 室
3.23 (月)	13:30～	第2回評議員会	7 F 第 一 中 会 議 室

(令和 8 年 4 月～ 7 月)

実 施 日	時 間	行 事 名 称	場 所
5.13 (水)	13:30～	女性部幹事会	6 F 第 一 研 修 室
5.22 (金)	13:30～	第 1 回理事会	7 F 第 二 中 会 議 室
6. 8 (月)	13:30～	定時評議員会、第2回（臨時）理事会	7 F 第 一 中 会 議 室
6.18 (木)		第71回日本身体障害者福祉大会（せんだい大会）	宮 城 県 仙 台 市
7. 1 (金)	13:30～	香川県身体障害者相談員全体研修会	7 F 大 会 議 室

※今後、諸事情により、行事の期日及び会場の変更、中止となる場合があります。

JRジパング倶楽部（特別会員）のあっせんについて

JR特急料金などが割引になるジパング倶楽部（特別会員）のあっせんをしています。

新緑や紅葉の季節に、ご家族やお友達と一緒に列車で出かけてみませんか。本連合会では、皆様の入会をお待ちしています。入会ご希望の方は、ご連絡下さい(087-862-3540)。



加入資格	身体障害者手帳所持者で、男性60歳以上、女性55歳以上の方
入会方法	新規 入会申込書、身体障害者手帳の写し、年会費1,400円（振込可）
	更新 更新申込書、年会費1,400円（振込可）
特 典	片道、往復又は連続で201km以上の乗車の場合に、特急券等が2～3割引で購入する事が出来ます。会員誌の送付はありません。 ≪5月の連休・盆・年末年始の時期を除く。新幹線「のぞみ・みずほ」特急券、トクトクきっぷ等を除く。≫

会員文芸欄

工作

さぬき市 三谷 豊和



「ひけたぶり」

★募集します★

事務局では、会員の方の作品を募集しています。作品分野は、短歌、俳句、川柳、絵手紙等です。応募は、一人何点でも結構です。今回の応募作品は、次号に掲載予定です。はがきに、市町名、氏名を記入の上、次の宛先までお送り下さい。皆様からのご応募をお待ちしています。

宛 先

〒760-0017
高松市番町 1 丁目10番35号
県社会福祉総合センター内
公益財団法人 香川県身体障害者団体連合会



●けんしんれんクイズ●

前号第90号
(令和7年9月1日付け)
の答え

① 30

② 56

前回のクイズ当選者等

正解者の中から若干名の方に
QUOカードをお送りしました。